



茨木市立福井小学校

令和4年(2022年)12月21日

福井だより

低学年向け

校長 吉田 明弘

人権プロジェクトの取り組みの様子を紹介します。

世界人権宣言が採択された日(12月10日)にちなんで、わが国では12月4日から12月10日を人権週間としています。今年度、福井小学校では、感染症の状況や校内の行事などを考慮して、「人権プロジェクト(人権週間) ※旧称『スマイル週間』」の時期や内容を決めました。

2学期の初めに、人権をテーマにした絵本の読み聞かせ「どんな感じかな 中山千夏 作 和田誠 絵」を行いました。

その後、作文・詩には2・4・6年が、ポスターには1・3・5年が、標語には全学年が取り組みました。

作品の発表は11月中旬に行いました。作文・詩は各クラス1名、ポスターは各クラス1点、標語は各クラス1名、あらかじめ撮影しておいたものを各クラスで視聴しました。

人権学習会は、12月12日に手話エンターテイメント発信団「oioi」のみなさんにきていただきました。

これらの「人権プロジェクト」の児童の感想を紹介します。

◇絵本の読み聞かせ『どんな感じかな』

- ・かそくがいなくなったらさみしい(1年)
- ・めがみえないってたいへんだな(2年)
- ・うごけなかったり、耳がきこえないから、わかることがあるんだなとおもった。(2年)
- ・せかいには、みみがきこえない人やめがみえない人がいるんだなということをはじめてしった。(2年)
- ・おとうさんやおかあさんがいなくなったら、どうやってせいかつしているんだろう(2年)
- ・目がみえない人は雨がふったらどうなるんだろう。(2年)
- ・じぶんがうごいたりするのは、あたりまえじゃないんだな。(2年)
- ・目の見えない人やうごけない人、かそくをなくした人、耳の聞こえない人などもありました。そんな中でもくらしていけてすごいと思いました。(2年)
- ・いろんな人がいて、すべていろんなすごいんだなと思った。(3年)
- ・耳や口や目がきこえなかったり、しゃべれなかったり、見えなかったりすると、どんなかんじかす



こしわかった。(3年)

◇人権作品発表会

- ・はっぴょうはよかった。わたしもがんばらなきゃあとおもった。(1年)
- ・せんそうがこわかった。(1年)
- ・4年生の作品がすごいなとおもいました。(1年)
- ・なんでせんそうするだろうとおもった。(1年)
- ・6年生のぶんしょうにかんどうした。(2年)
- ・色んな気持ちがかめ
- ・にがてなことで自分をわるく思っではいけない。(3年)

◇人権学習会

- ・耳がきこえなくてもしゅわでやててすごいなとおもいました。(1年)
 - ・しゅわがたのしかったけどちょっとむずかしかったです。(1年)
 - ・もし耳がきこえないともだちがいたときに、おしえてもらった手わをつかってそのそのともだちとなかよくなれるから、手わをおしえてもらってうれしかったです。(1年)
 - ・耳のきこえない人の生活はそんなにたいへんだなと思った(2年)
 - ・手話でお話するってすごいなと思った。(2年)
 - ・手話がこんなに多いと思わなかった。これからも手話をつかってみたいと思った。(2年)
 - ・きこえなくても、ことばをおぼえられてすごかったです。(2年)
 - ・耳の聞こえない人たちは、「ねぇ。」という声も聞こえないってたいへんだなと思った。(2年)
 - ・しゅわってこんなに楽しいってしらなかった。(2年)
 - ・オイオイチャンネルを見てみたいなと思いました。(2年)
 - ・しゅわをおぼえて、しゅわでいつでもどこでもだれとでもおはなししたい。(3年)
 - ・おいおいずの人は、耳が聞こえなくても楽しそうにしているから、しょうがいがあってもかいつできるんだなと思った。(3年)
 - ・ユーチューブでオイオイズをしらべて、いっぱいしゅわをおぼえたい。(3年)
- ◇「人権プロジェクト」を終えたまとめの感想
- ・学校へまいにちいくと、友だちといっぱいあそんだりできるから学校へずっと行きたいです。(2年)
 - ・みんなちがうところがあるのが、人権プロジェクトでわかった。(2年)
 - ・友だちのきもちを考えるのはだいじだなと思いました。(2年)
 - ・人けんプロジェクトを書いていたら楽しくなって来た。学校のルールをこれからもまもろうと思う。(2年)
 - ・ともだちに「ごめん」といってゆるしてもらえたからともだちになれた。(2年)
 - ・ふだんのせいかつでわるぐちをいっていたけど、わるぐちはやめようとおもった。(2年)
 - ・ハンディをしてちょっとだけじゃなくて、ずっとこんなかんじですごしているんだなというきもちがわかった。(3年)
 - ・ユニバーサルデザインがいちばん大切だなと思った。(3年)
 - ・いろんなたちばに立って考えることができた。(3年)



人権プロジェクトの取り組みの様子を紹介します。

世界人権宣言が採択された日(12月10日)にちなんで、わが国では12月4日から12月10日を人権週間としています。今年度、福井小学校では、感染症の状況や校内の行事などを考慮して、「人権プロジェクト(人権週間) ※旧称『スマイル週間』」の時期や内容を決めました。

2学期の初めに、人権をテーマにした絵本の読み聞かせ「どんな感じかな 中山千夏 作 和田誠 絵」を行いました。

その後、作文・詩には2・4・6年が、ポスターには1・3・5年が、標語には全学年が取り組みました。

作品の発表は11月中旬に行いました。作文・詩は各クラス1名、ポスターは各クラス1点、標語は各クラス1名、あらかじめ撮影しておいたものを各クラスで視聴しました。

人権学習会は、12月12日に手話エンターテイメント発信団「oioi」のみなさんにきていただきました。



これらの「人権プロジェクト」の児童の感想を紹介します。

◇絵本の読み聞かせ『どんな感じかな』

- ・できないことかわりに、できることがふつうの人の倍できていて、すごくいい考えだと思った。(4年)
- ・目は見えないし、耳もきこえなかったらどうなるんだろう。(4年)
- ・しょうがいをもっていることで、なにか新しいことに出あえるかもなぁと思った。(5年)
- ・相手の気持ちになると色んな世界が見える。(5年)
- ・いろいろ考えることが楽しく思えた。(5年)
- ・みんなそれぞれ、とくいなこと苦手なこと、好きなこと、きらいなこと、いろんなことがちがうんだなと思った。(5年)
- ・ヒロくんは動けない。でもその分、考えたり想ったりしている。すごいと思った。(5年)
- ・世界にはいろいろな人がいて、感じ方も人それぞれで、その立場になって考えるというのは、その人を知ることにつながると思った。(6年)
- ・自分がふつうだと思っていても、ちがう人からしたらふつうじゃないことがある。(6年)

◇人権作品発表会

- ・自分が考えないようなことがいっぱいあってすごかった。(4年)
- ・じぶんもきずつけないことばをえらぶのはだいじだとおもいました。(4年)
- ・1年生なのにいろんなことを考えられてすごいと思った。(4年)
- ・6年生の作文は長かったけれど、戦争のことをいっていて同感した。(5年)
- ・戦争は他人ごとではないと思った。(5年)
- ・男子も女子もいろんないろがすきでいいんだなぁとおもった。(5年)
- ・ひとりひとりみんなちがう。ちがってもいいということをみんな書いていてすごいと思った。自分もそういう気持ちを持ってすごしていきたいと思う。(5年)
- ・人は心がひとりひとりあるのに、だれかのせいでせんそうにまきこまれていのちをおとす人がいると思った。人をきずつけるのははんざいだと思う。(5年)
- ・みんなひとつひとつ気をつけば戦争のたまごは生まれない。(5年)
- ・私たちは、世界全部を平和にすることはできないけど、まずクラスを平和にして、そういう身近なところから始めたらいいと知った。(6年)
- ・もし自分になってしまったらと考えると胸が苦しくなった。そんなにがんばっている人をなぜ差別するのだろうと思った。(6年)
- ・戦争のたまごを産まないためにルールを守ったり、友達と仲良くしたいです。(6年)

◇人権学習会

- ・手話を教えてもらったから、次に耳が聞こえない人にあったら使ってみたい。(4年)
- ・手話ニュースとかやってたから、そんなのをみてもっともっと手話を勉強してやってみたいです。(4年)
- ・自分も手話を勉強してみようかなと思った。(5年)
- ・手話は動きより表情が大事だとわかった。(6年)
- ・手話のラジオ体操をして、楽しかった。(6年)
- ・手話ができないからといって話さないのではなく、筆談や話す努力をしたいなと思った。(6年)
- ・最きん自分も手話をれんしゅうしているから、もっとできるよになって、いろんな人としゃべってみたい。(6年)
- ・幸せは自分でつかんでいくんだと思いました。(6年)
- ・耳の聞こえない人のためのくふうがたくさんあるんだなと思った。(6年)

◇「人権プロジェクト」を終えたまとめの感想

- ・命は大切に、世界を平和にちょっと近づけようと思った。(4年)
- ・人権プロジェクトはむずかしかったけど、いろいろなことや気持ちがわかってよかったです。(4年)
- ・人それぞれ良いところがあるから、人の悪いところをさがすんじゃなく、いいところをさがしていったら平和につながると思う。(5年)
- ・人は考えがちがってもいいときづいた。十人十色がぴったり。(5年)
- ・みんながみんな友だちだから悪口やぼうげんはしてはいけないし、それを見て見ぬふりをするのもいじめのひとつだと思った。(5年)